

大会あいさつ

『鎌倉から世界へ』

当スローガンのもと続けてまいりました鎌倉市跆拳道選手権大会も、第19回を迎える事ができました。ひとえに選手の皆さまの努力と、スタッフ、保護者の皆さまのご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

保護者の皆さま、コロナ社会の中でも、日々お子さまたちへの温かいご支援 誠にありがとうございます。社会情勢として色々な制限が敷かれる中、道場では少しでもストレスを解除できますよう除菌消毒には一層心掛け、練習を通し平常時の笑顔を取り戻せますよう日々取り組んでおります。こうして1年ぶりに大会を開催できます事に感謝をする次第です。

今大会もトーナメントではなく、ワンマッチ大会とさせて頂きました。ご成長中のお子さまたちも安全かつ時間内に学び合えますよう、申請書に記載された体重や経歴をもとにマッチメイクいたしております。未就学児から中学1年生のお子さまは午前中に、中学2年生から一般の皆さまは午後に試合を組んでおります。ご質問などありましたら、スタッフまでお気軽にお申し出下さい。

今まで組手競技に於きましては、安全性を高める為に面防具は私たち主催者が用意した物をご利用頂いておりました。しかしながら飛沫・衛生的な部分を考慮し、今大会より手足の防具同様に①面防具もご自分専用(ヘッドギアは各々で持参)・②マウスガード・③試合中のみマスク着脱自由とさせて頂きます。

大会の開催会場として従来より使用続けた鎌倉武道館(ワクチン接種会場)では、畳の上での試合を行う予定でございました。しかしながら大船体育館では堅い床の為、転んでも安全な様に道場より畳マットを持参し試合にて活用しております。また完全なライトコンタクト(打ち抜く打撃でなく、技を競うポイント制)にて試合を行います。

盛り上げる為にも多くの保護者・ご家族の皆さまに応援としてご参加頂きたかったのですが、コロナ社会に於ける密を避ける故、会場より入場制限を敷かれております。先に申し上げました通り会場内の人数制限により、スタッフ数を極限まで減らしております。平常時では保護者さまの御手をお借りしませんが、今大会に於きましては、お子さまへの補助・除菌対応などお手伝い頂ければ幸いです。

スタッフを減らしております分、誠に恐れ入りますが表彰状への記入は保護者さまにお願いさせて頂きます事にご了承下さい。

選手の皆さまは、より高い目標を持ち日々心を輝かせて下さい。チャンピオンに成る、チャンピオンで居続けると言う想いを胸に、目標へ突き進んで下さい。日々の習慣が心と体を強く鍛え、実生活でも理想の実現へ繋げることが出来るはずです。

原点にして頂点、世界を制する者は鎌倉を制す。すべては、ここ鎌倉から始まります。

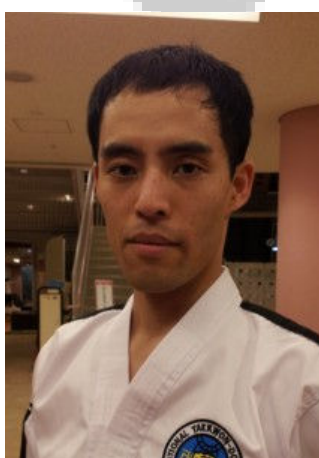
私たちはその理想を掲げ、続けております。参加される選手全員が、希望のもとに活躍できるよう道を拓きます。本日は、日々の鍛錬の努力が実りますよう期待しております。

最後に、皆さまが怪我なく、笑顔で成功を納める事を心より祈念いたします。

大会実行委員長 岡澤 一



大会 実行委員長
岡澤 一 師範 6段
岡澤道場 館長
元 世界ミドル級王者 他



大会 運営委員長
芹澤 薫 師範 5段
岡澤道場 湘南本部長
元 4段型 世界王者



岡澤道場 統括部長
石田 峰男 師範 5段
岡澤道場 東京本部長
元 ワールドカップ 団体型王者